

前提条件

- 大学名：東山大学
- 学部数：8学部 文系総合大学
(学生数8500名 教員数300名)
- 大学院：有
- 学部：文・経営・社会・法・教育・心理・経済・
国際教養
- 教育系
- リポジトリ未構築
- 先に学内合意
- 理事会にてプレゼンテーション



東山大学学術機関リポジトリ 構築に向けて

東山大学の教育・研究成果を
世界に発信！

学術機関リポジトリとは何か

大学等の学術機関が、

- ・組織内の学術情報を収集し、
- ・電子化してサーバ上に蓄積し、
- ・インターネット上に無料で公開するサービス

役割

- ・大学の財産となる研究成果の永続的保存
- ・研究成果の可視化

コンテンツの種類

- 学術論文(学術雑誌掲載論文、プレプリント、学会発表資料等)
- 学位論文(博士論文、修士論文)、卒業論文
- 教育資料(講義資料、講演記録、プレゼンテーション資料等)
- 各学部が作成した紀要・研究記録等
- 学内に基盤をもつ学会・研究会作成紀要類

メリット

- 大学にとって
 - 地域社会への貢献
 - 知名度・ブランド力の向上
 - 学術情報の管理コスト低減
 - 研究成果の一元的管理
- 研究者にとって
 - 研究の認知度の向上
 - 新たな研究成果発信ルート

全国的な動向

- 国立大学図書館協会学術情報委員会
『電子図書館機能の高次化に向けて—学術情報デジタル化時代の大学図書館の新たな役割』(2005年)
- 文部科学省科学技術・学術審議会
『学術情報基盤の今後の在り方について(報告)』(2006年)

現在の設置状況(2010年6月30日現在)

	単独	共同	設置率
国立大学	75	0(4)	87.2%
公立大学	8	7	16.3%
私立大学	32	27	9.9%

構築に向けて

- ・理事会
- ・運営委員会立ち上げ
- ・ガイドライン作成(収集方針)
- ・各部局間の調整(運用体制など)
- ・予算申請
- ・コンテンツ収集開始
- ・システム導入
- ・テスト公開
- ・広報

予算

構築は外部委託とする

※外部資金(NII CSI事業)も導入できる

- 初年度予算 合計約1200万円
 - データ化...約500万円
 - 設備費 ...約450万円
 - 人件費 ...約200万円 他